

トピックス② ワーク・ライフ・バランスの推進

全ての職員が、仕事と生活を両立し、能力を最大限発揮できる職場環境づくりに向けて、様々な取組を進めています。

仕事と生活の調和に向けた取組

サテライト・オフィス

自分の勤務地以外でもデスクワークを可能とするサテライト・オフィスを県内5か所に設置しています。
※設置場所：本庁(大分市)、日出、豊後大野、玖珠、中津

在宅勤務(テレワーク)

育児や介護を行う職員等が自宅で勤務できるよう、タブレット端末等の貸し出しを行っています。

時差通勤

職員の働き方に応じた時差通勤制度を実施しています。
(例) 育児や介護を行う職員 B勤務(9:00~17:45)、C勤務(8:00~16:45)

出産や育児のための主な休暇・休業等

	妊娠	出産	1歳	2歳	3歳	小学校入学	中学校入学
女性職員	妊娠障害休暇【有給】(1回の妊娠につき14日以内)	産前産後休暇【有給】(出産前8週間、出産後8週間)					
男性職員		出産補助休暇【有給】(出産前4週間から出産後2週間までの3日以内)					
		育児参加休暇【有給】(出産前8週間から出産後8週間までの5日以内)					
		育児休業【無給】	(子どもが1歳までは育児休業手当金の支給あり)				
		育児時間【有給】	(2歳まで：1日60分を2回または1日120分を1回。 2歳3か月まで：1日45分を2回または1日90分を1回。)				
		部分休業【勤務しない時間は減額】	(勤務時間の始めまたは終わりに1日2時間以内)				
男女共通		育児短時間勤務【勤務時間に応じた額を支給】	(一定の勤務形態の中から希望する時間帯に勤務できる。 例：1日3時間55分×5日=1週当たり19時間35分勤務など)				
		子の看護休暇【有給】	(年間5日以内。子どもが複数 数の場合は年間10日以内)				

育児休業について

職員が育児休業を取得しやすい環境づくりに取り組んでいます。大分県庁(知事部局等)における育児休業等の取得率(平成30年度)は

女性 **100%**

男性 **91.0%**※

※男性職員の取得率には、次のいずれかの制度を利用した者を含みます。

①育児休業、②部分休業、③育児短時間勤務、④出産補助休暇(3日間完全取得)、⑤育児参加休暇(5日間完全取得)

育児休業中職員の キャリア支援

育児休業中でも職員研修を受講できるので、安心して職場復帰することができます。

★希望者には託児サービスを用意しています。研修の休み時間には、子どもの様子を見ることができます。

【利用者の声】●職場復帰前のような経験となった。●不安が和らいだ。●近くで子どもを預かってもらったので、安心して研修に集中できた。

育児休業取得者経験談



大分土木事務所
三浦 沙織さん

平成22年4月～大分土木事務所

平成22年7月～平成23年9月(第1子産休、育休)

平成23年10月～平成24年9月(育児時間)

平成25年4月～土木建築部都市計画課

平成26年12月～平成27年8月(第2子産休、育休)

平成27年8月～平成29年5月(育児時間)

平成27年10月～現所属

平成29年5月～平成30年5月(部分休業1.5時間/日)

平成30年6月～令和元年7月(第3子産休、育休)

令和元年7月～(育児時間)

Q1. 育児休業制度等を取得した感想を教えてください。

第3子の育児休業中は、上の子ども達の育児経験もあり、心と時間にゆとりを持って育児を楽しむことができました。もちろん、夜泣きや病気に悩まされることもありましたが、子どもの成長、笑顔が一番近くで感じることができる幸せな時間でした。

また、職場復帰後の働き方や子ども達との関わり方を見つめ直す大変よい機会にもなり、仕事を続ける上で貴重な時間となったように思います。

Q2. 家庭と仕事を両立するために心がけていることを教えてください。

無理をしないことと、周囲に助けを求めることです。子どもが小さい間は、どうしても育児に時間をとられてしまい、思うように仕事を進められないことがあります。育児も仕事も一人でできることには限界があるので、終わらない仕事は上司や同僚に相談し助けてもらうようにしています。育児の面では、夫や両親の助けは欠かせないものとなっています。

Q3. 働くママとしての県の魅力を教えてください。

出産や育児のための休暇制度が充実しており、その時々のお家の事情に応じた休暇を利用できることです。また、子育てを経験した女性先輩職員がたくさん活躍されている姿は魅力的なモデルとなり、入庁を希望する理由の一つになりました。

